

むかいしま ゆた しぜん い 『向島の豊かな自然と生きもの』

だい かい 第56回 「夏はやっぱり！カブトムシ・クワガタムシ」

ねん と はっせい
1年に1度しか発生しないカブトムシ

カブトムシをつかまえに行く。だれにも教えない秘密の場所。早朝から車で出かける。
なが なが ながくつ ぼうし むし あみ くるま なか ようい
長そでと長ズボン、長靴に帽子。虫とり網はいつも車の中に用意してある。(カブトムシを
つきおも すで びき き さく だ
つかまえる時は主に素手)1匹づつ入れるケースと、木のウロにひそむクワガタムシを探り出すため
のピンセットも忘れずに。

じゅえき で そうきばやし はい にお あまず どくとく にお い
樹液の出る雑木林に入るとプーンと匂う、甘酸っぱく独特の匂い。カブトムシの居そうな、
クワガタムシが潜んでいることが分かる匂い！ワクワクする！！

て とど すばや ちゆうい わす
手が届けば素早くつかまえる。ハチヤムカデに注意することを忘れてはいけない。

たか とこころ み おも じゅもく け お おも
高い所に見つけたら思いっきり樹木を蹴ってみる。ポトポトガサガサ落ちる音！

しかしハズレも多い。絶対にいるはずじゃのにハズれる。ハズレが多いほど次に期待できる。

さいしゅう じゅえき で き さが だいじ じゅえき で
採集には、まずこの樹液の出るコナラやクヌギの木を探ることが大事。樹液はいつまでも出て
いるわけではなく、じゅもく せいちょう なに えいきょう とし じゅえき と
樹木の生長の何かに影響されるのだろうか、ある年から樹液が止まってしま
う。ここ数年、虫の集まる樹に出会える回数が少なくなった。新しい場所を探しているけれど
なかなか見つからない。

クワガタムシの種類はカブトムシより多く、それだけクワガタムシの好む樹種も多いようだ。

じゅしゅ じゅえき ちが き ちが じゅえき あじ ちが
樹種よりも樹液の違いか??樹が違くと樹液の味も違うかもしれん。

にほん ほんかいどう おきなわ ねんかん うりょう きおん じせい しょくぶつ ちが ちいき
日本は北海道と沖縄では1年間の雨量や気温、自生する植物も違うので、それぞれの地域の
かんきょう そ い
環境に沿ったクワガタムシが生きている。

「ヒラタクワガタ」1種でも本州と沖縄では違う。形は同じようだがツヤツヤしているのが沖縄
す じせい じゅるい おお おきなわ ぶん みなみ しま
に棲み、また自生するクワガタムシの種類も多いのが沖縄を含む南の島だ。

むし きら ひと
虫が嫌いな人でもカブトムシやクワガタムシが人気なのは知っていると思う。

みちか のやま
身近な野山にカブトムシやクワガタムシがいっぱいっぱいっぱい棲んでいけば嬉しいのだが…そうじゃ
ない?ちょーど良い!?どのような環境であればちょーど良いか考えてみるのも、カブトムシやク
ワガタムシが喜んでくれる事かもしれない。

カブトムシ・クワガタムシを探しに出かけて思わぬ出会いもある。

み かがえ みちばた み おおがた
見つからずつかまえられず、しょげて帰る道端で見つけたハンミョウや大型のアゲハチョウ、なわ
ばりをパトロールするオニヤンマ… むし す たの やがいあそ
虫が好きだ!!こんな楽しい野外遊び。

はな とり こんちゅう うみべ あそ
～ 花と鳥と昆虫と海辺に遊ぶ ～

つるかめクラブ 江頭 正